

○平成24年度事業報告及び収支決算について

I 平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

当協会は、財団法人として昭和46年6月の発足以来、国民共有の文化遺産である国宝、重要文化財その他の文化財建造物を適切に保存修理し、また、そのための技術を次代に継承していくことにより地域社会及び国民の文化的向上に寄与することを目的として、文化財の所有者や管理団体からの依頼に基づいて文化財建造物の保存修理等に関する調査、設計その他の技術支援を行うとともに、修理技術者・木工技能者の養成・研修事業を行い、併せて修理技術に関する調査研究等を実施してきたところである。

当協会は、平成21年7月27日から「公益財団法人文化財保存技術協会」として新たにスタートしたところであるが、文化財建造物保存修理等事業は、国民共有の文化遺産を保存し伝えていく上で不可欠な事業であり、高度の専門的技術により適切に実施される必要があることを踏まえ、本年度においても、当協会の社会的使命を果すため、以下の点に特に留意しつつ、各事業の着実な実施に努めた。

- (1) 文化財建造物の保存修理等支援事業については、所有者及び関連分野の専門家や関係機関・団体等との緊密な連携の下に計画的な業務執行を図るとともに業務の高品質化と効率的な実施に努める。
- (2) 選定保存技術保持団体として実施する文化財建造物修理技術者・木工技能者の養成・研修に関する事業については、引き続き、より高度の技術水準と人材の確保に努める。

1. 保存修理等支援事業

文化財建造物の保存修理等は、国民共有の文化遺産としての建造物の価値を維持し、これを国民生活に活かし、さらに次代に確実に引き継いでいくために不可欠の事業であり、その実施に当たっては、対象建造物の破損状況の把握、修理計画の立案、現状変更の検討その他伝統的技法による技術支援など、特別の知識・経験と高度な修理技術を必要とするものである。

そのため、本年度においても、関連分野の専門家や関係機関・団体等の協力を得ながら、協会全体としての取り組みにより技術力を最大限に発揮することを旨としつつ、保存修理等の事業主からの依頼を受け、専門的知見に基づく当該建造物等の調査、高度な歴史的、伝統的技法等に基づく計画の策定、設計などを行うとともに、その保存修理等の実施過程を通じて大工、左官等の技能者に対し必要な指導を行うなど、専門的、技術的な支援を実施した。

また、重要文化財建造物等の耐震診断・構造補強業務及び保存管理計画の策定業務に積極的に取り組んだところである。

なお、平成23年3月に発生した東日本大震災によって被災した国宝・重要文化財等の文化財建造物についての保存修理事業を継続して行った。

さらに、本年度においては、特定費用準備資金を活用し、災害復旧の一部の事業について被災者に対する支援を行った。

本年度実施した主な事業は、次のとおりである。

(1) 国指定文化財等の保存修理等事業に関する設計その他の技術支援

① 建造物等

「一般修理」では、平成15年度から継続していた善導寺大庫裏ほか6棟（福岡県）、平成19年度から継続していた旧出津救助院（長崎県）の工事が完了した。平成21年度から継続の長勝寺庫裏（青森県）、永保寺開山堂観音堂（岐阜県）、大村家住宅主屋及び裏座敷（愛媛県）、平成22年度から継続の寛永寺旧本坊表門（東京都）の工事が完了した。また平成23年度から継続していた旧三河島処分場（東京都）の工事も完了した。

「特殊修理」では瑞巖寺本堂ほか7棟（宮城県）、勝興寺大広間及び式台ほか10棟（富山県）、姫路城大天守（兵庫県）、出雲大社ほか22棟（島根県）が継続修理中である。

「新規事業」では、一般修理として豊平館（北海道）、旧旭川偕行社（北海道）、和井田家住宅（埼玉県）、神明社本殿ほか4棟（長野県）、諏訪大社上社（長野県）、住吉大社摂社大海神社西門（大阪府）、井上家住宅主屋ほか4棟（岡山県）、厳島神社反橋ほか3棟（広島県）、安岡家住宅主屋ほか5棟（高知県）、門司港駅本屋他（福岡県）、八勝寺阿弥陀堂（熊本県）などに着手した。

② 史跡等

「継続事業」については、平成22年度からの旧園田家住宅（石川県）が完了した。金沢城橋爪門（石川県）、名古屋城本丸御殿（愛知県）では工事監理を、平城宮跡第一次大極殿院建造物復原（奈良県）では設計を継続している。「新規事業」では旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園（秋田県）、小石川後樂園得仁堂（東京都）の工事監理、同じく後樂園赤門他（東京都）の設計、佐渡鋤山施設（新潟県）の調査・整備計画などに着手した。

③ 登録文化財

「継続事業」として、愛知県庁舎本館保存活用計画（愛知県）が完了し、総持寺祖院（石川県）の技術協力が継続している。「新規事業」では、福成歯科医院（旧古賀銀行）（佐賀県）、吉川家住宅（大分県）で技術指導等に着手した。

④ 防災施設

「継続事業」では、平成21年度から継続していた出雲大社本殿ほか22棟（島根県）、旧青山家住宅（山形県）、平成22年度から継続の善導寺広間他（福岡県）が完了した。「新規事業」では、妙義神社（群馬県）、旧富岡製糸場（群馬県）、慈眼寺本堂ほか2棟（山梨県）などに着手した。

⑤ 災害復旧

東日本大震災により被災したもののうち、「継続事業」の我妻家住宅（宮城県）、飯野八幡宮本殿・宝蔵（福島県）、旧福島尋常中学校本館（福島県）、天鏡閣本館（福島県）などを完了した。他の継続中の事業としては、専称寺本堂及び総門（福島県）、佛性寺本堂（茨城県）、シャトーカミヤ旧醸造場施設（茨城県）、旧弘道館政庁他（茨城県）、太田中学校講堂（茨城県）、岡本家住宅（栃木県）、伊能忠敬旧宅（千葉県）、旧江戸城田安門清水門（東京都）などがある。

「新規事業」として、旧馬場家住宅（福島県）などに着手している。

⑥ 調査等

「継続事業」では、東山植物園温室前室（愛知県）、名古屋市庁舎（愛知県）、旧美敷水源地水道施設（鳥取県）、旧長崎英国領事館本館（長崎県）の調査、調査工事等が完了し、松江城天守（島根県）の保存活用計画策定が継続中である。

「新規事業」では保存活用計画等の策定事業として旭川偕行社（北海道）、大湊水源地施設（青森県）、姫路城大天守（兵庫県）、旧グラバー邸（長崎県）他、耐震診断事業等として自由学園明日館講堂（東京都）、旧東京音楽学校奏楽堂（東京都）、犬山城天守（愛知県）、広島平和記念資料館（広島県）、その他の調査、調査工事として北海道庁旧本庁舎（北海道）、葦山反射炉（静岡県）などに着手した。

（2）地方指定文化財等の保存修理等事業に関する設計その他の技術支援

「建造物」の「継続事業」では、小山寺仁王門（茨城県）、新勝寺薬師堂（千葉県）、旧乾邸（兵庫県）が完了し、建中寺徳川家霊廟（愛知県）、金山寺護摩堂（岡山県）などが継続中である。「新規事業」では、旧前田侯爵邸和館（東京都）、旧大和田銀行（福井県）、高座神社（兵庫県）、阿佐家住宅（徳島県）に着手した。

「史跡」では、甲府城鉄門（山梨県）、ド・ロ神父遺跡（長崎県）の工事が完了した。「新規事業」として鶴丸城石垣調査（鹿児島県）に着手した。

「調査等」では瑞泉寺（富山県）での技術協力が継続中で、新規事業として旧海軍石造官舎（青森県）、旧光丘文庫本館（山形県）、旧日本銀行広島支店（広島県）に着手した。

平成24年度における保存修理等支援事業に係る件数一覧

事業の種別	継続件数	新規件数	合計件数
1 国指定文化財	118	116	234
(1) 建造物等	58	55	113
i 特殊修理	5	0	5
ii 一般修理	53	55	108
(2) 史跡等	18	15	33
i 保存修理	14	11	25
ii 復元整備	4	4	8
(3) 登録文化財	2	5	7
(4) 防災施設	4	7	11
(5) 災害復旧	24	13	37
(6) 調査等	12	21	33
2 地方指定文化財	15	21	36
(1) 建造物等	11	13	24
(2) 史跡等	3	1	4
(3) 登録文化財	0	0	0
(4) 防災施設	0	1	1
(5) 災害復旧	0	2	2
(6) 調査等	1	4	5
3 未指定その他	0	2	2
(1) 建造物等	0	0	0
(2) 復元	0	0	0
(3) 防災施設	0	0	0
(4) 災害復旧	0	0	0
(5) 調査等	0	2	2
合計	133	139	272

(注) 「特殊修理」とは、大規模な建築又は建築史上重要なもので、保存修理等に当たって特に高度な技術等を要するものとして指定されるものである。

2. 技術者等養成・研修事業

文化財建造物の保存修理等には高度な修理技術が不可欠であることから、その中核となる修理技術者・木工技能者を養成しかつその技術の向上を図るための研修を実施することは、保存修理等事業の実施と表裏一体をなすものである。また、本協会は、「建造物修理」及び「建造物木工」の二つの分野において、文化財保護法に基づく「選定保存技術」の保存団体として文部科学大臣から認定（昭和51年）され、その高い専門技術を次代に確実に継承する使命を課されている。

(1) 国庫補助事業

本年度においては、引き続き国の補助を受け、「文化財建造物保存事業技術者等養成・研修事業概要（昭和52年3月制定）」、「文化財建造物保存技術者養成・研修受講者基準（昭和53年3月制定）」及び「文化財建造物木工技能者研修受講者選考基準（昭和52年3月制定）」等に基づき、以下のような研修事業を実施した。

①技術者養成・研修

○趣旨

全国の文化財建造物修理技術者のうち、初任者又はこれに準ずる者に対して、文化財建造物修理技術に必要な知識・技術に関する基礎的教育を行い、文化財建造物修理技術者の後継者養成を図る（2年計画の第1年次）。

○参加者数

計 11人

○期間等

9月から3月の間、4回に分けて計44日間 340時間

○修了者数累計

計 246人

②中堅技術者研修

○趣旨

全国の中堅技術者を対象に、講義・実習及び見学を通じて文化財建造物修理技術に必要な専門的知識・技術等を習得させ、文化財建造物修理技術者の資質の向上を図る。

○テーマ

木の知識、修理計画、建具・彩色彫刻（3班）

○参加者数

計 39人

○期間等

各班 4日間

③主任技術者研修

○趣旨

全国の全ての主任技術者に対して、保存修理等支援業務に関し、工事主任等が修理現場で得た知見等を発表し、それについての協議を中心とした研修を行い、文化財建造物修理技術者の資質の向上を図る。

○特別講演

「出雲大社本殿の形成について」 神戸大学教授 黒田龍二氏

○参加者数

計 111人

○期間等

10月10、11日

④幹部技術者研修

○趣旨

文化財建造物保存修理等支援業務に関し、工事監督等に対して、工事指導に係る重要事項全般についての協議を中心とした研修を行い、文化財建造物保存修理事業の円滑、適正な推進を図る。

○テーマ

1. 保存修理工事に伴う諸課題
2. 平成24年度主任技術者研修について

○参加者数

計 11人

○期間等

4月17日

⑤修理技術公開セミナー

○趣旨

文化財建造物の保存修理に関する基本的知識及び具体的事例について、保存修理事業や修理技術者の役割に対する関心と理解を深め、文化財建造物修理技術者の後継者確保に資する。

○参加者数

計 33人

○期間等

平成25年2月21日、22日

⑥木工技能者研修

○趣旨

文化財建造物修理に従事する建造物木工技能者に対して、講義、実習研修を行い、文化財建造物の保存に必要な知識及び技能の習得、資質の向上を図り、伝統的木工技術の保存に資する。

○参加者数

計 20人 (普通コース 20人)

○期間等

普通コース（第18回後期） 5月14日～19日

普通コース（第19回前期） 11月5日～10日

○修了者数累計

計 360人（普通コース 195人、上級コース 165人）

（2）協会内研修

本年度は大幅な拡充を図り、階層別研修として「管理職マネジメント研修(10名、2日)」、「所長研修(70名、1日)」を、特定技術研修として非破壊検査法の「鉄部門研修(13名、1日)」及び「コンクリート部門研修(10名、2日)」並びに「規矩研修(7名、2日)」を、海外研修として「中国研修(13名、7日)」、「イギリス研修(10名、8日)」をそれぞれ実施した。

3. 調査研究等事業

文化財建造物の文化財としての価値をそのまま保存、継承していくため、また、修理技術者等の技術力の向上を図るためにも、先人たちの努力により引き継がれてきた歴史的建築技法や修理技術等について、調査研究等を行うことは重要である。

このような観点から、本年度においては次のような事業を実施した。

（1）調査研究

昨年度から開始しており、今年度は以下のような内容で実施された。

①「保存修理の理念等に関する総合的な調査研究」

○研究概要

木造をはじめとする様々な建築構造に関する保存修理の実際について、国内外の事例を調査・収集し、修理の理念と方法の変遷等について分析、整理を行う。

○本年度の実績

- ・ 20世紀後半の木造文化財建造物保存史に関し、文化財建造物等の調査指定、保存修理等の技術的実務運用について2名の経験者から聞き取り調査を行った。
- ・ 未完成等建造物と石造文化財建造物の保存修理につき基本的考え方をまとめた。
- ・ 保存修理への合成樹脂の応用事例について、各修理工事報告書をもとに取りまとめた。
- ・ 海外事例の調査研究を、中国、イギリスを対象として実施した。

②「保存修理技術の体系化等に関する調査研究」

○研究概要

建築技法、保存修理技術等に関する各種調査研究や修理工事報告書の内容を基に、構造形式や基礎工事、木工事、屋根工事など工事種別ごとに、用語、工法など主任技術者が参考とすべき基礎的な情報の収集、整理等を行い、保存

修理等支援業務の実際における応用や修理技術者のテキストとして活用できる資料を作成する。

○本年度の実績

- ・ 神社本殿の形式、門の各形式、ほかの諸用語について検討を行った。
- ・ 版築の工法について、取りまとめた。

③「保存修理等支援事業基礎調査」

○調査概要

今後における保存修理等支援事業をより計画的、効果的に実施するため、地方指定文化財、登録文化財、伝統的建造物群保存地区の中核的建造物、近代化遺産並びに史跡、文化的景観や歴史まちづくりなどの指定理由、現状その他に関する基礎調査を行う。

○本年度の実績

- ・ 景観法、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律等による地域整備事業の現状把握を行った。
- ・ 地方指定文化財、登録有形文化財の実態を把握し、今後、保存修理支援事業等が想定される地方指定文化財等の現状把握を行った。

(2) 修理工事報告書の刊行及び顕彰

当該年度に完了したすべての国指定建造物等の保存修理工事及びその他の主要な事業について報告書を刊行しているが、本年度は9件の国宝・重要文化財建造物及び7件の史跡・県指定等の報告書を刊行した。(刊行件数累計 850件)

また、報告書の水準の向上を図るため、その内容、図面等が特に優れているもの等について理事長顕彰を行っているが、本年度は、次の報告書に優秀賞等を授与した。

—報告書の部—

- 優 秀 賞 重要文化財武並神社本殿修理工事報告書
- 審査員特別賞 東京都指定有形文化財池上本門寺宝塔修理工事報告書

—図面の部—

- 優 秀 賞 ①重要文化財歙喜院聖天堂保存図
②重要文化財願泉寺本堂他5棟保存図
- 審査員特別賞 重要文化財星名家住宅主屋他7棟保存図

(3) 『文建協通信』の発行

全国の事業現場における情報や建造物の新知見などを、当協会職員はもとより、国の修理技術者、関係者に紹介する当協会の機関誌『文建協通信』を4回発行した(発行部数 2, 875部)。掲載内容は、下記の特集記事のほか、「現場レポート」(計45現場)、「新現場紹介」(計4件)などである。

108号(平成24年4月)

- 課題研究 修理工事報告書について(文化庁主催主任技術者講習会<普通コース> 受講者11名)

109号(平成24年7月)

○講演録 書院造り (西 和夫)

110号(平成24年10月)

○技術ノート 組物の形式と技法の変遷I (吉井 博)

111号(平成25年1月)

○追悼文 (伊原恵司元常務理事・工藤満元参与・岡田恵子元庶務係長)

○調査研究ノート 日本建築の用語を考える(1) (濱島 正士)

(主な配付先)

文化庁、各都道府県・政令市教育委員会、関係大学・研究機関、博物館、賛助会員等

(4) 大学における教育への協力

文化財建造物の歴史的建築技法等に関する実践的な調査研究の成果を生かすため、本年度においては、次の大学の要請に応じ、技術職員を派遣し講義等を担当させた。

○東京藝術大学大学院 4人 (4/1~11/30)

○放送大学 1人 (1/5~6)

4. 国際交流・協力事業

この分野における近隣諸国その他の諸外国との交流・協力は、わが国の技術水準の向上にとどまらず国際貢献の観点からも重要、有益である。

したがって、このような事業について、実施体制あるいは財政的な面において支障の生じない限りにおいて、積極的に取り組むものとし、本年度においては次のような事業を実施した。

(1) 「文化遺産ワークショップ2012」への協力

(公財)ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所の依頼を受け、同財団が実施する研修の検討会議に、5月29日から6月3日にかけて常務理事1名をインドネシア共和国へ派遣した。その後この会議を受けて、10月15日から20日にかけて実施された「文化遺産ワークショップ2012ーインドネシア共和国南カリマンタン州マルタブラほかにおける現地研修ー」に参加1名を講師として派遣することに協力した。

(2) 中国研修での交流

6月に内部研修として実施した中国古建築視察の日程中、同月・日に清華大学文化遺産保護研究所を訪問しワークショップを共催した。文建協、清華大学から14名ずつが参加して、交互に修理、復元について発表し活発な質疑応答が交わされた。

(3) ミャンマー国文化遺産保護に係る協力

東京文化財研究所の依頼を受け、同研究所が文化庁の委託を受けて実施する文化遺産国際貢献事業の一環「ミャンマー国の文化遺産保護に係る技術調査」に1月25日

から2月3日の日程で職員一名を派遣した。ヤンゴン、バガン、マンダレーにおいて組積造並びに木造建造物調査の実施に協力を行った。

5. 普及啓発事業

文化財建造物の保存修理等の事業の実際や歴史的建築技法などに関する情報を広く発信し、国民の理解を深め意識を高めていくことは、保存修理等事業を円滑に進める上で有意義であるのはもちろんのこと、地域社会や国民の文化的向上に直接資するものといえる。

このような観点から、当該期間においては次のような事業を実施した。

(1) 『文化財保存技術2012』～文化財を支える伝統の名匠～

文化庁が平成15年度から毎年度実施している当該普及啓発事業について、建造物修理・木工の選定保存技術保存団体として、パネル展示や継手仕口の模型展示及び大工による木工技能の実演等を実施してきている。

本年度は10月に兵庫県姫路市において開催され、国宝姫路城大天守と重要文化財武並神社の保存修理工事に関するパネルを展示して担当主任が解説を行うなど当協会の活動の紹介を行うとともに、来場者向けの体験コーナーを設け、職員が木部絵様並びに瓦の摺り拓本指導を行った。

(2) 文化財建造物保存修理現場公開事業への協力

事業主及び地方公共団体等が主催する現場公開事業について、当該期間においては、次のとおり協力・実施した。

1都1府16県 26現場 参加者数 約639,800人

(3) 文化財建造物に関する各種研修会・委員会等への協力

地方公共団体や公益法人などが主催する各種研修会・委員会等に、その要請に応じて技術職員を派遣し、文化財建造物に関する教養や歴史的建築技法、保存技術等についての講義や実技指導のほか、専門的技術的な観点から助言などを行った。

○ 延べ39機関・団体等に65人派遣

6. その他の事業

(1) 人材交流

全国の文化財建造物等に関する保存修理等事業の適切な実施及び学術調査研究の向上発展に資するため、これまで国、地方公共団体をはじめ、関係団体及び大学等21機関に対し、累計38名の協会技術職員について、派遣、割愛等を行ってきた。

現在、2名の技術職員を派遣中である。

巖島神社	平成19年12月1日～平成25年3月31日
京都市(元離宮二条城事務所)	平成21年1月1日～平成25年12月31日

(2) 修理工事報告書と文化庁保管保存図のデジタル化

前年度から引き続き、修理工事報告書等についてデジタル化を進め、インターネットを通して地方勤務の職員の閲覧を可能とし調査の効率化に資するよう進めている。

以上)

平成24年度保存修理等支援事業の概要

(単位 : 円)

事業の種別	平成24年度事業決算額		平成23年度事業決算額		差引	増 △減額
合計	272 件	2,129,217,931	263 件	1,924,341,112	9 件	204,876,819
継続	133 件	1,540,455,539	104 件	1,257,581,024	29 件	282,874,515
新規	139 件	588,762,392	159 件	666,760,088	△ 20 件	△ 77,997,696
1 国指定文化財等	234 件	1,997,565,396	217 件	1,746,117,441	17 件	251,447,955
継続	118 件	1,474,507,804	86 件	1,176,309,683	32 件	298,198,121
新規	116 件	523,057,592	131 件	569,807,758	△ 15 件	△ 46,750,166
(1) 建造物等	113 件	1,192,471,472	99 件	1,171,517,218	14 件	20,954,254
i 特殊修理	継続 5 件	282,135,965	4 件	213,827,560	1 件	68,308,405
〃	新規 0 件	0	0 件	0	0 件	0
ii 一般修理	継続 53 件	730,974,817	53 件	787,615,883	0 件	△ 56,641,066
〃	新規 55 件	179,360,690	42 件	170,073,775	13 件	9,286,915
(2) 史跡等	33 件	233,679,232	34 件	186,200,689	△ 1 件	47,478,543
i 保存修理	継続 14 件	75,050,810	14 件	69,537,894	0 件	5,512,916
〃	新規 11 件	71,184,700	12 件	34,047,850	△ 1 件	37,136,850
ii 復元整備	継続 4 件	16,271,950	4 件	39,014,000	0 件	△ 22,742,050
〃	新規 4 件	71,171,772	4 件	43,600,945	0 件	27,570,827
(3) 登録文化財	7 件	23,109,550	4 件	8,948,100	3 件	14,161,450
継続	2 件	15,057,000	1 件	1,575,000	1 件	13,482,000
新規	5 件	8,052,550	3 件	7,373,100	2 件	679,450
(4) 防災施設	11 件	48,059,670	15 件	62,621,296	△ 4 件	△ 14,561,626
継続	4 件	27,894,990	6 件	31,727,296	△ 2 件	△ 3,832,306
新規	7 件	20,164,680	9 件	30,894,000	△ 2 件	△ 10,729,320
(5) 災害復旧	37 件	241,837,582	29 件	45,543,638	8 件	196,293,944
継続	24 件	205,803,672	1 件	1,640,100	23 件	204,163,572
新規	13 件	36,033,910	28 件	43,903,538	△ 15 件	△ 7,869,628
(6) 調査等	33 件	258,407,890	36 件	271,286,500	△ 3 件	△ 12,878,610
継続	12 件	121,318,600	3 件	31,371,950	9 件	89,946,650
新規	21 件	137,089,290	33 件	239,914,550	△ 12 件	△ 102,825,260
2 地方指定文化財等	36 件	129,008,635	46 件	178,223,671	△ 10 件	△ 49,215,036
継続	15 件	65,947,735	18 件	81,271,341	△ 3 件	△ 15,323,606
新規	21 件	63,060,900	28 件	96,952,330	△ 7 件	△ 33,891,430
(1) 建造物等	24 件	95,868,430	29 件	142,111,456	△ 5 件	△ 46,243,026
継続	11 件	47,016,130	11 件	60,939,576	0 件	△ 13,923,446
新規	13 件	48,852,300	18 件	81,171,880	△ 5 件	△ 32,319,580
(2) 史跡等	4 件	20,443,605	6 件	25,467,465	△ 2 件	△ 5,023,860
継続	3 件	18,574,605	4 件	19,440,465	△ 1 件	△ 865,860
新規	1 件	1,869,000	2 件	6,027,000	△ 1 件	△ 4,158,000
(3) 登録文化財	0 件	0	0 件	0	0 件	0
継続	0 件	0	0 件	0	0 件	0
新規	0 件	0	0 件	0	0 件	0
(4) 防災施設	1 件	189,000	1 件	153,300	0 件	35,700
継続	0 件	0	1 件	153,300	△ 1 件	△ 153,300
新規	1 件	189,000	0 件	0	1 件	189,000
(5) 災害復旧	2 件	1,902,600	0 件	0	2 件	1,902,600
継続	0 件	0	0 件	0	0 件	0
新規	2 件	1,902,600	0 件	0	2 件	1,902,600
(6) 調査等	5 件	10,605,000	10 件	10,491,450	△ 5 件	113,550
継続	1 件	357,000	2 件	738,000	△ 1 件	△ 381,000
新規	4 件	10,248,000	8 件	9,753,450	△ 4 件	494,550

事業の種別	平成24年度事業決算額		平成23年度事業決算額(通年)		差引	増	△減額
3 未指定その他	2 件	2,643,900	0 件	0	2 件		2,643,900
継続	0 件	0	0 件	0	0 件		0
新規	2 件	2,643,900	0 件	0	2 件		2,643,900
(1)建造物等	0 件	0	0 件	0	0 件		0
継続	0 件	0	0 件	0	0 件		0
新規	0 件	0	0 件	0	0 件		0
(2)復元整備	0 件	0	0 件	0	0 件		0
継続	0 件	0	0 件	0	0 件		0
新規	0 件	0	0 件	0	0 件		0
(3)防災施設	0 件	0	0 件	0	0 件		0
継続	0 件	0	0 件	0	0 件		0
新規	0 件	0	0 件	0	0 件		0
(4)災害復旧	0 件	0	0 件	0	0 件		0
継続	0 件	0	0 件	0	0 件		0
新規	0 件	0	0 件	0	0 件		0
(5)調査等	2 件	2,643,900	0 件	0	2 件		2,643,900
継続	0 件	0	0 件	0	0 件		0
新規	2 件	2,643,900	0 件	0	2 件		2,643,900